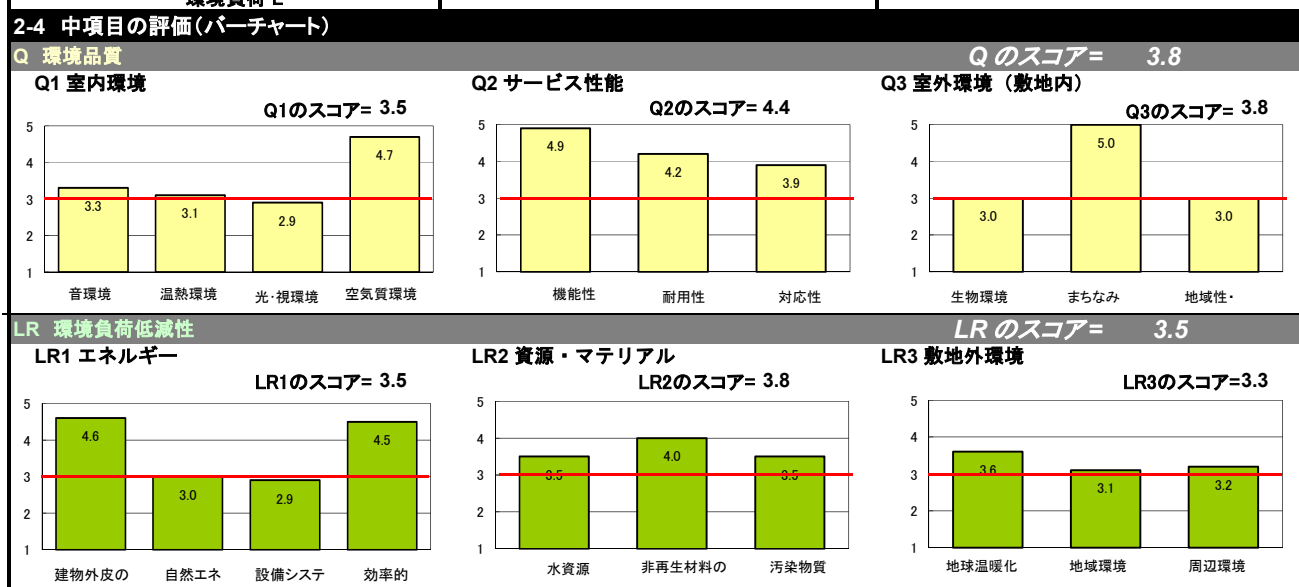
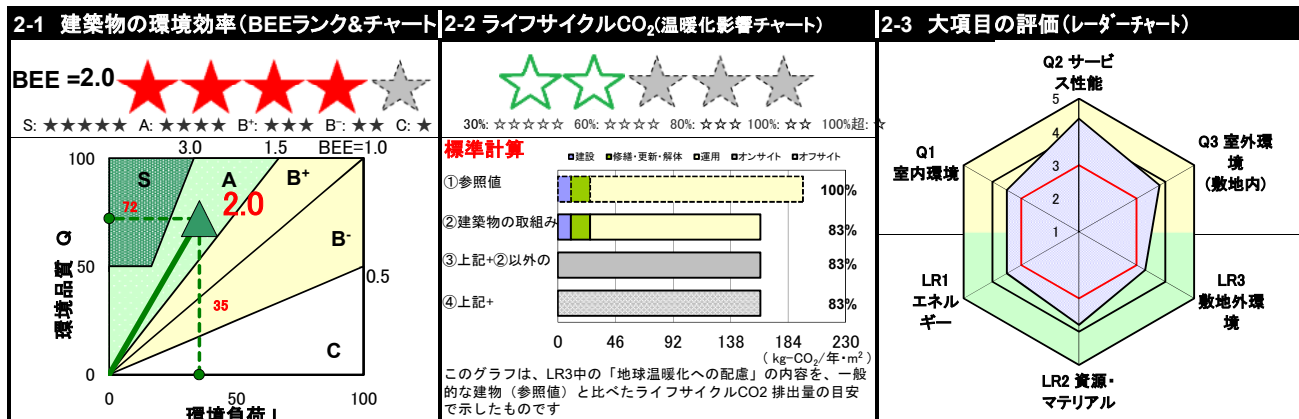


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川西市立総合医療センター	階数	地上9F
建設地	兵庫県川西市火打1丁目1026番、1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第2種住居地域	平均居住人員	1,400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2022年4月12日
敷地面積	11,548 m ²	作成者	端野 亮一
建築面積	7,127 m ²	確認日	2022年4月15日
延床面積	36,318 m ²	確認者	端野 亮一



3 設計上の配慮事項		
総合 「ガーデンホスピタル」をコンセプトに、隣接するキセラせせらぎ公園や川西の豊かな自然を医療環境の一部と捉えた。低層部各階には屋上庭園や緑豊かなバルコニーを設置し、外来部門には景色を望める開口部を設け、病院内外がつながる計画とした。全ての方角から患者・家族を迎えるマルチエントランス案を採用した。		その他 特に無し。
Q1 室内環境 ・全ての建材はF☆☆☆☆適合材料とし、ホルムアルデヒド以外のVOCについて放散量が少ない建材を全面的に採用。	Q2 サービス性能 ・積載荷重(床用): 病室部2900N/m ² 。	Q3 室外環境 (敷地内) ・周辺の公園との連続性を重視し、屋外階段下や2階ガーデンテラスにベンチやテーブルを設け、人が集まる良好な景観を形成してる。
LR1 エネルギー ・ガラス開口部Low-eガラスを採用、外皮断熱施工、LED照明器具の採用。 ・BEMSを導入し年間の一次エネルギー消費量を把握+データ分析し省エネ効果の比較も可能。	LR2 資源・マテリアル ・節水型大小便器、自動水栓器具を採用。 ・ボード、ビニル床材、ウッドデッキにリサイクル材を採用。	LR3 敷地外環境 ・「光害対策ガイドライン」十分に配慮、広告物照明無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される